

授業科目 社会福祉援助技術演習Ⅰ

【担当教員名】 豊田 星野 藤澤 松本 吉田 濱野	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

社会福祉の専門援助技術を事例や実技を通して習得する。社会福祉援助技術現場実習Ⅱの事後学習を行う。

- 1 社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返る。
- 2 実習事例を通して利用者への理解やラボールの形成など、社会福祉援助技術の基礎を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- 1 社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り、今後の学習課題を発見する。
- 2 実習事例を通して基礎的な社会福祉援助技術を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返る		6グループに分かれて学習する。
2	同上		
3	同上		
4	同上		
5	同上		
6	実習事例を通してコミュニケーションを考える		
7	同上		
8	実習事例を通して利用者への理解を深める		
9	同上		
10	同上		
11	実習事例を通してラボールについて考える		
12	同上		
13	面接について学ぶ		
14	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	『実習生のための対人援助技術』 社会福祉実習研究会編集 中央法規 2001年 2200円＋税			
参考書				
その他の資料	必要に応じて資料を配布する			

【評価方法】

出席状況、受講態度、レポートなどを総合的に評価する。

【履修上の留意点】

担当教員の指導内容に違いがあるため、担当教員の指導に基づいて学習すること。